

新点字図書館基本構想中間報告書（案）

平成23年2月

新点字図書館基本構想検討委員会

目 次

はじめに	1
第1 高知点字図書館の現状と課題	2
1 施設及び職員配置	2
2 図書の製作とボランティアの育成	3
3 利用実績	4
第2 新点字図書館がめざすもの	5
1 県内全域を対象とした視覚による読書に障害のある方へのサービス	5
2 公共図書館や福祉機関との連携による利用者支援の充実	5
3 情報環境の変化に対応した利用者支援の充実	5
4 ボランティアとの協働の推進	5
第3 新点字図書館のあり方について	7
1 著作権法の改正への対応	7
（1）新点字図書館の役割について	7
（2）点字図書館の改称について	7
2 これからのサービスのあり方	8
（1）新図書館の図書館支援ネットワーク等を活用した利用の拡大	8
（2）福祉機関との連携による利用の拡大	8

（３）図書館のユニバーサル化の推進	９
（４）職員の専門性の確保と資質向上	９
（５）図書の製作	１０
（６）レファレンス・サービスの充実	１０
（７）生活情報や地域情報の提供	１０
３ 情報環境の変化に対応した利用者支援の充実	１１
（１）デジタイズ図書等の利用促進	１１
（２）パソコンやインターネットの利用支援	１２
４ ボランティアの育成と協働の推進	１２
（１）点字図書館を支援するボランティアの育成	１２
（２）ボランティアの質の向上に対する支援	１３
５ 新点字図書館の運営	１３
第４ 施設整備に関する基本的な考え方	１４
１ 施設整備にあたって配慮すべき事項	１４
２ ユニバーサルデザイン対応・建物のバリアフリー化	１５
おわりに	１６